

第41回北山市民医学講座で災害医療について講演しました (2024/3/27)

テーマ：災害医療と救急医療の違い、日本の災害医療の変遷、令和6年能登半島地震
場 所：北山市民センター（宮城県仙台市）

2024年3月27日（水）、宮城県仙台市の北山市民センターで第41回北山市民医学講座が開催され、佐々木宏之准教授（災害医療国際協力学分野）が災害医療について講演しました。

北山市民医学講座は、近隣クリニックを中心に、仙台ひと・まち交流財団仙台市北山市民センター、国見地区連合町内会等によって年に5回程度開催され、一般市民向けに健康・疾病に関する話題を各領域の専門医が分かりやすく解説する講座です。コロナ禍が明け再開された対面講座において、令和6年1月に能登半島地震が発生し改めて災害時の医療について関心が高まったことから、佐々木准教授が講演することとなりました。

当日は会場に近隣住民、仙台市地域防災リーダー（SBL）メンバー、近隣医療機関従事者、行政職員など40名ほどが集まりました。能登半島地震の発生、また3月は東日本大震災が発生した月だったことから、災害医療への関心は高く、参加した住民の様子から熱意の高さをうかがえました。同地区連合町内会長からの挨拶に続いて始まった佐々木准教授の講演では、「災害医療と救急医療の違い」「日本の災害医療の変遷」「災害拠点病院とDMAT」といった話題が解説され、新聞・テレビ等で最近目にするもののその内容を詳しく知らなかった住民は佐々木准教授の解説に熱心に耳を傾けていました。また、2月に石川県庁に派遣された佐々木准教授が示した当時の輪島市や珠洲市の写真に、東日本大震災の記憶を重ねた住民も多く、講演後の質疑応答では東日本大震災時の避難所運営、近隣クリニックの医療対応について活発な発言がなされました。参加した住民から「こういった話が聞きたかった。地域の防災訓練時に災害医療の話を改めて解説してもらいたい」などの要望も上がりました。

社会の災害対応力向上にはそれを実践できる人材育成、知識の普及啓発が不可欠です。当研究所ではこのような実践的活動を継続して参ります。

第41回 北山市民医学講座

日時：令和6年3月27日（水）
午後6時30分～午後7時30分
場所：北山市民センター 第1会議室

演題：災害医療について

講師：東北大学災害科学国際研究所
災害医療国際協力学分野
准教授 佐々木 宏之 先生

次回
「第42回 北山市民医学講座」のご案内

日時：5月22日（水）（予定）
午後6時30分～午後7時30分
場所：北山市民センター 第1会議室

※新型コロナウイルス感染症等のやむを得ない事情によって、講座を延期中止とさせていただきます。お断りいたします。
※開演前夜に会場に出入り制限を設ける場合があります。
※手洗い・マスクの着用、3密の回避などの基本的な感染対策をお願いします。

● 講座の様子を写真撮影し、市民センターよりホームページ等に掲載させていただきます。掲載がご希望です。お断りください。
● 申し込みの際にいただいた個人情報、当該講座の運営・実施の目的以外では使用いたしません。

主催 医療法人 社団 千賀クリニック 後援 国見地区連合町内会
仙台市北山市民センター 仙台市社会福祉協議会 協力 社会福祉法人 大樹
仙台市北山市民センター



講座チラシ

災害医療について解説する佐々木准教授

文責：佐々木宏之（災害医療国際協力学分野）